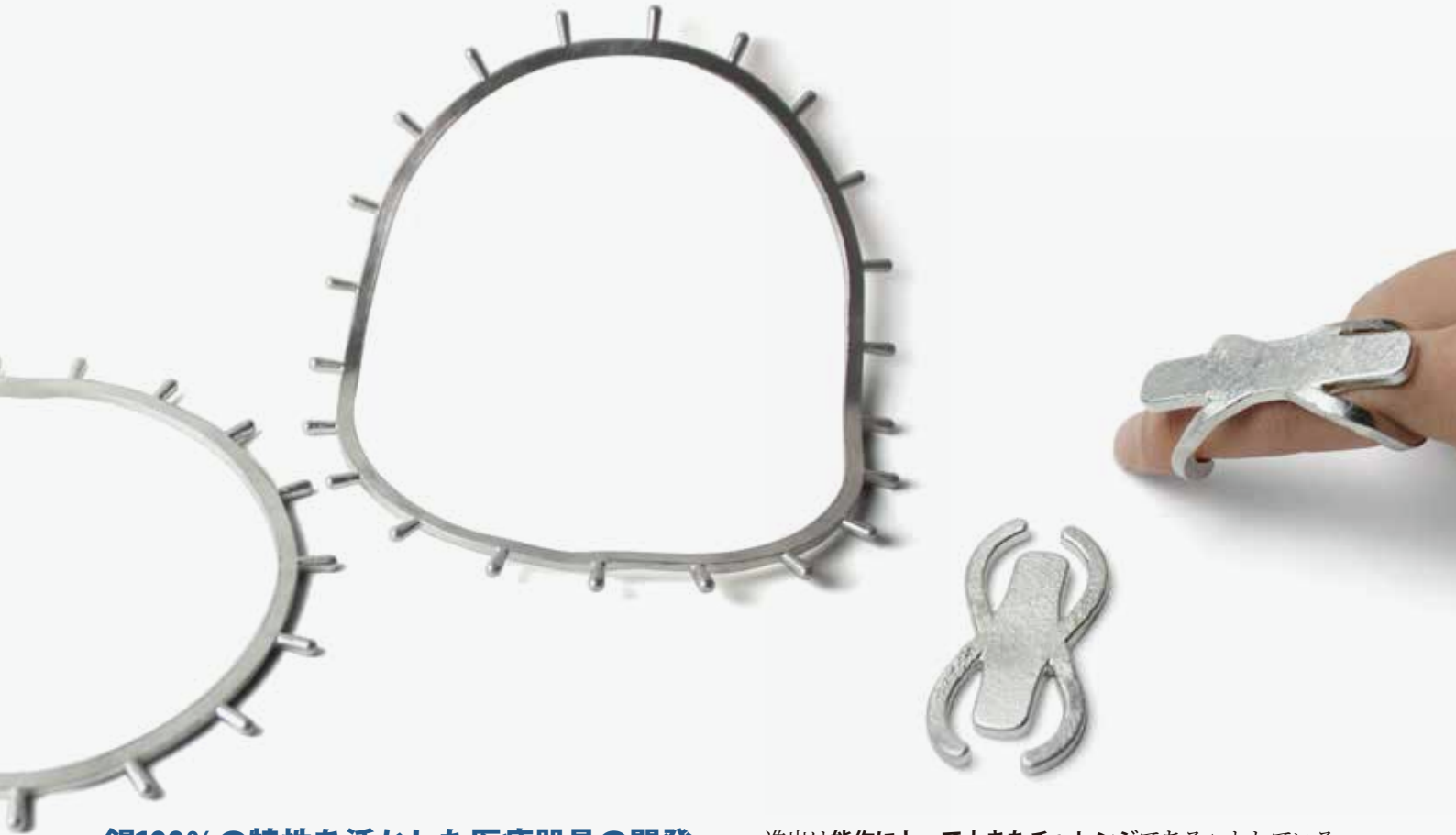


素材の可能性を追究して、新たな分野へ進出



錫100%の特性を活かした医療器具の開発

鋳物メーカーの株式会社能作（高岡市）では、2014年9月に**医療機器製造の免許を取得**し、医療分野への進出を始めた。同社では、錫 100%の特性を知るために研究機関に検査を依頼。錫には**抗菌特性**があることを知り「形状を変えて使用することができることを考えれば、医療器具としての可能性があるのでは」と、さらなるステップとして医療分野の研究開発に入ったという。錫は圧縮応力、引張応力が弱くいわゆる**スプリングバックが少ない**金属であるため、**曲げて使用した場合思い通りの形になる**特性もある。現在、臨床研究中の器具としては手術による開閉部を開くための「**開創リング**」と、骨折の際に患部の固定を行うための添え木「**シーネ**」を開発中だ。

素材を突き詰めること、 広く新たに知らしめること

能作を代表する製品といえば、やはり錫 100%のお酒がまるやかになる特性を活かした酒器たち、手で形を変えられる特性を活かした曲がる器たちが挙げられる。そして今度は、錫という素材の抗菌特性を活かして**医療・健康に寄与する新たなカテゴリー**を生み出した。「この分野への

進出は**能作にとって大きなチャレンジ**である」としている。また、**医療・健康分野への試み**は富山プロダクトコンペティション 2014（事務局：富山県総合デザインセンター）で**とやまデザイン賞を獲得した「toew（トー）」**の製品化にも結び付いている。同社では「toew は、能作が生み出してきた多くの革新的な錫製品のなかで、さらに一線を画す新しいカテゴリーの商品」とし、「この製品が新たな販路、お客様との出会いの機会を生み出し、この分野での能作のイメージを牽引することが期待されている」と意欲を見せている。現在はパッケージの検討や展開についても協議を重ね、デザイナーのアイデアを製品に反映できるようサンプルの作成を繰り返しているという。「デザインをした yonanp（ヨナンペ）は、錫の可変特性が身体へ寄り添う素材であるという点に着目しており、そのため形状や表面処理にも妥協しない」と、製品化へのこだわりのある取り組みを続けている。

錫 100%という素材を深く知り、かつ柔軟な発想があることで、新たな発見が生まれる。能作のチャレンジに大いに期待したい。

【お問い合わせ】

●(株)能作 0766-63-5080 www.nousaku.jp